

平成28年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	震災復興林業作業システム導入支援事業			担当部局	復興庁		作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 後藤 浩平		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	汚染状況重点調査地域における放射性物質の影響を考慮した森林整備に係る作業システムの普及を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	復興に向けて林業事業者が行う放射性物質の影響を軽減させる作業システムの確立に必要な高性能林業機械等のリース方式による導入を支援。 (補助率:定額(リース料の1/2))								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	295	330	280	355	360.6		
		補正予算	▲9	▲71	▲50	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		286	259	230	355	360.6		
	執行額		169	209	230				
執行率(%)		59%	81%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 31年度
	平成31年度までに高性能林業機械を使用して生産する木材の生産量割合を70%まで引き上げる。	高性能林業機械を使用した素材生産量の割合 ※成果実績及び目標値は前年度の値を記入している。	成果実績	%	-	58	61	-	-
			目標値	%	-	55	57	-	70
			達成度	%	-	1.1	1.1	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	リースにより高性能林業機械等を導入した事業者数			活動実績	事業者	59	66	62	-
				当初見込み	事業者	17	17	61	61

単位当たりコスト	算出根拠		単位 千円	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	リース料助成予定額／リースにより高性能林業機械を導入した事業体数			9,937	8,409	10,169	9,672
			計算式 千円/事業体	586,309/59	554,984/66	630,500/62	589,995/61

平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	リース料助成費	351.2	356.5	28年度以降は27年度までに事業採択した事業体に対するリース料助成に必要な経費のみを予算要求している。			
	事業推進費	4.1	4.1				
	計	355.4	360.6				

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	4. 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な発展						
	施策	(2) 林業の持続的かつ健全な発展						
	測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値		-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係							
-								

改革項目 経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	分野:	-	-					
	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-		
	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-		
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係							
-								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	被災地における林業の早急な復興を図る上で不可欠な事業であり、被災地からのニーズも高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	自然災害や原発事故については、事業体や地方自治体の責任によるものではなく、被災した自治体にとっては、災害からの復旧工事が喫緊の課題である中で、財政が非常に厳しいことから、国費を投じて国が事業を実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被災地における林業の早急な復興を図る上で不可欠な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	補助事業として複数年にわたってリース料の助成を行う事業であり、後年度にわたり現行の事業実施主体が引き続き実施するものである。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助率は他の一般の補助事業と同等であり、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	導入する機械の種類・性能等においても複数台導入する場合もあり得ることから過去の実績と比較することは適当ではない。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業実施に必要な経費に限定している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的の達成に必要な経費に限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	経費の節減に努めている。	

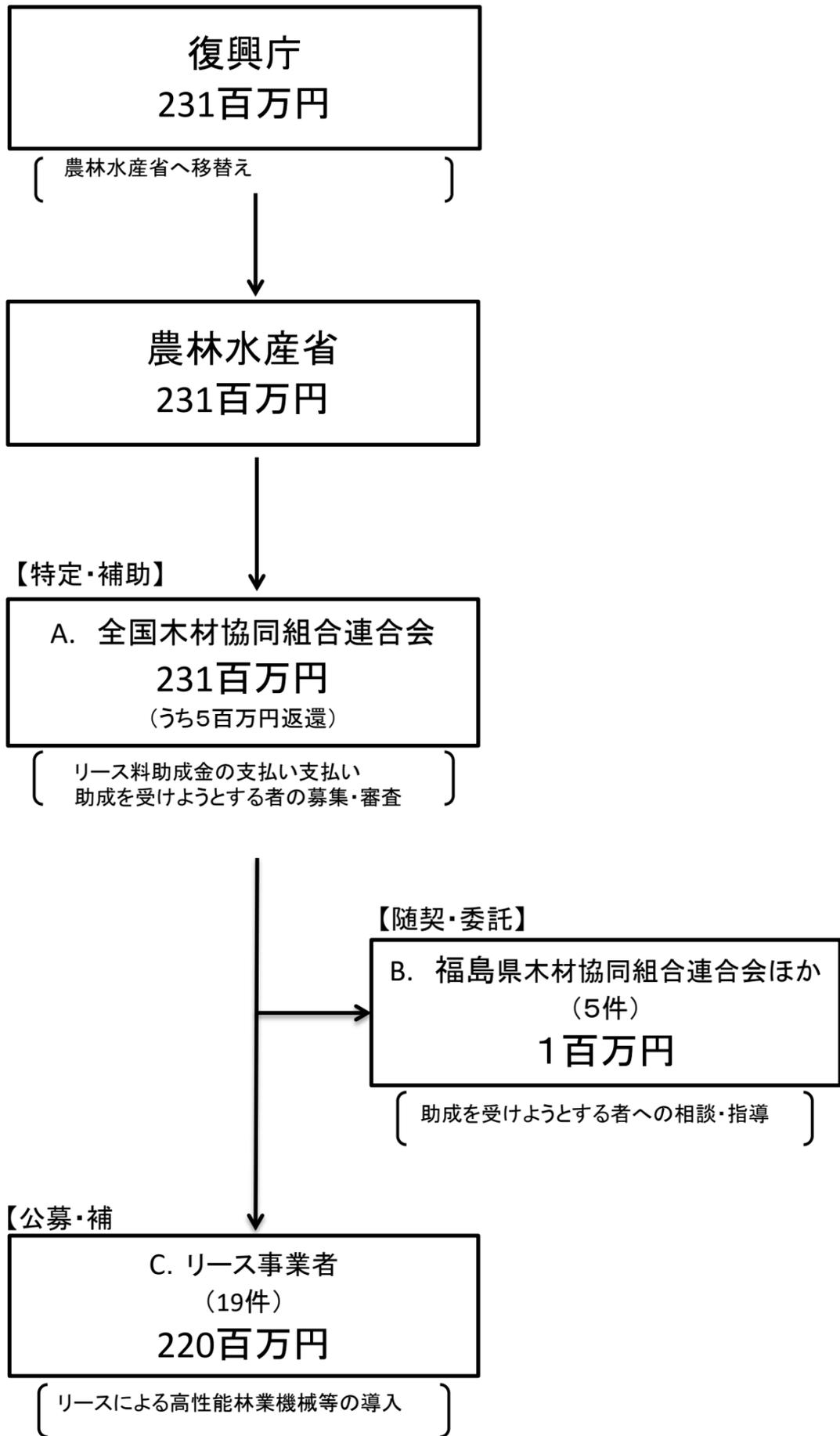
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標以上の実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	被災地の事業体においては将来的な事業計画が見通せず、新たな雇用や投資はリスクが高く、融資ではなく補助事業が適当である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み以上の実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	当該地域における森林整備事業において有効活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
	農林水産省林野庁	新28-0031	地域林業・木材産業機械設備リース導入支援事業	
点検・改善結果	点検結果	リース助成事業として一定以上の成果を得られている。		
	改善の方向性	27年度以降については、リース事業のみ事業継続していくこととしており、新規の事業募集は27年度をもって終了している。28年度以降は27年度までに事業採択した事業体に対するリース料助成に必要な経費のみを予算要求することとしており、引き続き本特別会計において事業継続していく。		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	汚染状況重点調査地域における放射性物質の影響を考慮した森林整備に係る作業システムの普及を推進することを目的とした復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。			
備考				
平成26年度をもって「人材育成対策事業」「作業システム普及事業」を終了しており、平成27年度より事業名を「震災復興林業人材育成対策事業」から本事業名に変更し、リース事業を継続している。				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	80	
平成25年度	111	平成26年度	131	平成27年度	0131	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A. 全国木材協同組合連合会			B. 福島県木材協同組合連合会等		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	助成費	リース料助成	219.9		全ての支出先が100万円未満のため 該当なし	
	人件費	技術者及び臨時職員に対する賃金	3.9			
	委託費	申請者に対する指導・相談に係る委託	1.2			
	その他	需用費・旅費・役務費等	0.5			
	計		225.5	計		0
	C.リース事業者					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	高性能林業機械等のリース料	219.9			
計		219.9	計		0	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全国木材協同組合連合会	8010005002033	申請者の審査・助成金の支払い事務等	225	-	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県木材協同組合連合会	9380005000445	申請者に対する指導・相談	0.4	-	-	-	
2	群馬県木材協同組合	1070005000533	申請者に対する指導・相談	0.4	-	-	-	
3	栃木県木材業協同組合連合会	6060005000364	申請者に対する指導・相談	0.2	-	-	-	
4	茨城県木材協同組合連合会	3050005000129	申請者に対する指導・相談	0.2	-	-	-	
5	岩手県木材産業協同組合	5400005000941	申請者に対する指導・相談	0	-	-	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三井住友ファイナンス&リース(株)	5010401072079	高性能林業機械等のリース経費	65	-	-	-	
2	(株)レンタルのニッケン	4010001032368	高性能林業機械等のリース経費	46.2	-	-	-	
3	JA三井リース(株)	8010701022466	高性能林業機械等のリース経費	19.2	-	-	-	
4	日本GE(株)	9010401077495	高性能林業機械等のリース経費	17.9	-	-	-	
5	コマツビジネスサポート(株)	4010401010485	高性能林業機械等のリース経費	13.1	-	-	-	
6	キャタピラーファイナンス(株)	3010901016066	高性能林業機械等のリース経費	11.4	-	-	-	
7	(株)常陽リース	4050001001187	高性能林業機械等のリース経費	10	-	-	-	
8	トヨタファイナンス(株)	8010601027383	高性能林業機械等のリース経費	7.6	-	-	-	
9	中道リース(株)	1430001024094	高性能林業機械等のリース経費	4.3	-	-	-	
10	(株)とちぎんリーシング	4060001003199	高性能林業機械等のリース経費	4.2	-	-	-	